

JFA U-13 サッカーリーグ 2022 東海 実施要項

- 1 目的 (一社)東海サッカー協会は、日本サッカー界の将来を担う3種年代(U-13)の選手たちのより一層のサッカー技術の向上と健全な心身の育成を図ることを目的とする。さらにレベルが拮抗したリーグ戦をM-T-Mメソッドに基づき、長期間を通して行う。
- 2 主催 (一社)東海サッカー協会・(一社)東海サッカー協会3種委員会
- 3 主管 東海地域リーグ運営委員会
- 4 後援 ミカサ
- 5 協力 愛知・岐阜県・静岡・三重3種委員会
- 6 日程 2022年7月～2022年12月
- 7 会場 東海地域各会場
- 8 参加資格 (1) (公財)日本サッカー協会に第3種加盟登録を完了しているチームとする。
(2) 2009年4月2日以降に生まれた選手であること。
*「クラブ申請」していれば、U-12の選手を出場させることができる。
(ただし、小学6年生のみとする。)
- 9 参加チーム数

愛知	岐阜	三重	静岡	計
4	0	1	3	8

- 10 競技方法 (1) 前期・・・8チーム(ホーム or アウェイ/7試合)
後期・・・8チーム(ホーム or アウェイ/7試合)
※前後期ともホーム&アウェイを基本とする。
(2) 勝ち3点、引き分け1点、負け0点の勝ち点により順位を決定する。
なお、勝ち点が同一の場合は以下の項目に従い順位を決定する。
① 全試合のゴール・ディフェレンス(総得点-総失点)
② 全試合の総得点
③ 当該チーム同士の対戦成績(勝敗)
④ ①～③の全項目について同一の場合は、抽選により決定する。
(3) 試合時間:60分(前・後半30分)
(4) ハーフタイムのインターバル:原則として10分(前半終了から開始まで)
(5) 同点の場合、延長戦は実施しない。

11 競技規則

- (1) (公財)日本サッカー協会「サッカー競技規則 2021/2022」による。
- (2) 各試合にエントリーできる人員は役員5名以内、選手は18名以内とし、試合ごとにエントリーする。試合開始60分前までに、メンバー表と選手証を本部へ提出する。
- (3) 交代
①選手18名から最大7名の交代が認められる。(再交代はない)
②後半の交代回数を3回とする。
※前半、ハーフタイムでの選手交代は、後半の交代回数に含まれない。
※後半のウォータブレイク、クーリングブレイクでの交代は後半の交代回数に含まれる。
- (4) 飲水タイム
新型コロナウイルス感染予防のため飲水ボトルの共有を不可としており、選手が給水しづらい環境であることから各試合においてWBGT値によらず前半1回、後半1回の飲水タイムを設ける。
- (5) 試合球は支給されたボール(ミカサ アルムンド550B FT550B)または同等の物とする。

- (6) テクニカルエリアは設置する。 戦術的指示はテクニカルエリア内からその都度ただ1人の役員が伝えることができる。
- (7) アディショナルタイムの表示を実施する。
- (8) ユニフォーム
 - ①ユニフォーム（シャツ・ショーツ・ソックス）については、正の他に副として、正と色彩が異なり判別しやすいユニフォームを各試合に必ず携行すること。また、チームのユニフォーム（ゴールキーパーのユニフォームを含む）のうちシャツの色彩は、審判員が通常着用する黒色と明確に判別し得るものでなければならない。
 - ②シャツの前面・背面に各試合で登録した選手番号を付けること。ショーツの選手番号については付けることが望ましい。番号は1～99番とする。
 - ③GKが控えを含め退場等の理由により試合続行不可能となった場合のFPによるGK出場の折の背番号については、GKのユニフォームを着用することによる不一致が発生しても良いこととする。
 - ④キャプテンマークは着けるほうが望ましい。
- (9) 退場を命じられた選手は次の1試合に出場できず、それ以降の処置については、本大会規律委員会において決定する。
- (10) 期間中に警告を3回受けた選手は、次の1試合に出場できない。

- 13 昇格・降格 (1) 7・8位チーム(2チーム)は次年度、各県リーグへ降格。
(2) 各県リーグ代表によるプレーオフの勝者2チームが昇格。

14 表 彰 優勝チーム以下第3位チームまで表彰する。

15 諸経費 30,000円 交通費・会場費については参加チームの負担とする。

16 傷害補償 大会中の負傷など事故があった場合は、応急処置のみ行います。参加チームは必ず傷害保険に加入すること。

17 運営組織 (1) 参加チームの中から運営本部を設置し、東海地域リーグ会場・審判など運営全般を統括する。
(2) 本大会において、規律委員会を組織し、委員長は東海3種委員長が務める。委員の人選については委員長に一任する。

18 その他

- (1) 2022年度より前期・後期とも正規のピッチサイズで試合を行う。
- (2) ①各県リーグにセカンドチームが参加しているチームは、11名のブロック選手を指定すること。ブロック指定された選手については、下位リーグへの出場は認めない。ブロック外選手については、上位リーグ、下位リーグのいずれのリーグにも出場できる。
メンバーの変更・追加及びブロック選手の変更があった場合は、各県の委員長とリーグ担当者にメンバー表の提出を行う。
メンバーの変更・追加及びブロック選手の変更は以下の3つの期間とする。
8月29日(月)～9月2日(金) 前期2節と3節の間
10月17日(月)～10月22日(金) 前後期の間
11月28日(月)～12月2日(金) 後期5節と6節の間
(ブロック選手の下位リーグへの出場など違反があった場合はその選手と監督を1か月の出場停止となります。)

②GKについても①と同様とするが、緊急事態（GKの日本代表活動への参加や複数のGKの故障の場合など）により、セカンドチーム以下のGKが各県第3種委員長の承認を得て、東海地域リーグへの出場が可能となり、登録変更期間以外であっても、セカンドチームの試合に戻ることを可能とするのもある。

(3) 実施要項に記載されていない事項については、(一社)東海サッカー協会3種委員長会において協議し決定する。

(4) 感染症対策について

本大会の感染対策責任者を【東海サッカー協会3種委員長 中野大輔】とする。参加チームは、最新の「公式戦における新型コロナウイルス感染拡大防止に関する対策」等を順守して、選手・保護者・指導者・大会運営者が協力して感染症対策に努める。その上でできる限り試合環境の確保を目指す。

(5) 雷等による試合中止、延期の判断について

- ① 試合開始前の判断については、試合担当者（会場責任者）を中心にして、審判、両チームと相談の上決定する。
- ② 試合中の中断、再試合の判断は、審判団で判断し、試合担当者（会場責任者）と相談の上決定する。
 - ※再試合は残り時間で行う。ただし、試合開始後 45 分を経過した後の再試合は行わず、試合成立とする。
 - ※再試合において、メンバーは中断時から変更できない。（怪我等で出られない場合は交代枠を消化して交代扱いとする。）